

地域医療連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行 地域医療連携センター

電話 042-558-0321(代表)

FAX 042-550-5190(直通)



血液内科部長着任のご挨拶

血液内科部長 八田 善弘



令和5年4月1日付で公立阿伎留医療センターに着任いたしました。

血液内科疾患は患者数の少ない領域ですので、血液内科を標榜している病院は多くありません。また医師数の少ない領域でもあるため血液内科医が勤務している数少ない病院に患者さんが集中する傾向があります。西多摩地域でも血液内科の診療を行っているのは青梅市立総合病院等に限られていました。

当院では今まで非常勤医師が半日外来を担当しておりましたが、約10万人の人口を抱える秋川流域では事実上血液内科診療の空白地域でした。

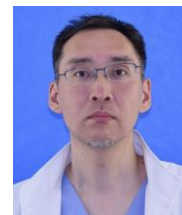
さらに血液疾患も他の成人病を同じように高齢者に発症頻度が多いため、今後は患者数の増加が予想されます。この度私が血液内科部長として着任いたしましたので、今後はぜひ近隣の先生方からご紹介をいただき、従来遠方に通院していた血液内科患者さんの受け皿になっていきたいと考えております。新型コロナウイルス感染症の感染症分類が5類に移行することで、従来よりも患者さんを受け入れやすくなると思われます。

一方で当院では血液内科を始めたばかりですので体制が十分に整っておりません。白血病の強力化学療法や造血幹細胞移植は施行できません。まずは外来中心の診療で徐々に入院患者さんを増やしていく予定です。当面は骨髄異形成症候群などの各種貧血、血小板減少症、多発性骨髄腫、慢性白血病、低悪性度リンパ腫などが中心となります。貧血、血小板減少、白血球数の異常、M蛋白血症、リンパ節腫脹などの患者さんがおられましたらご紹介いただければ幸いです。

私の前任地は高度医療機関で上記疾患に加えて悪性リンパ腫や白血病の強力化学療法、造血幹細胞移植などの経験を積んでまいりました。今後はこの地域で血液疾患の診療でお役に立ちたいと考えております。

ご挨拶

脳神経外科部長兼リハビリテーション科部長 平岩 直也



2023年4月より脳神経外科部長兼リハビリテーション科部長を拝命いたしました。

私が当院の脳神経外科に着任して早10年になろうとしています。その間地域の基幹病院としての責任を果たすべく努力してまいりました。しかし、人員不足などの面からその職責を十分に果たせていなかったのもまた事実であり、近隣の医療機関の先生方には多大なご迷惑をおかけしたことを心苦しく思います。2020年11月より新たに久米賢医師が着任しましたが体制が強化された所にコロナ禍が襲い、科としてのパフォーマンスを十分に発揮できない状態が続いておりました。今回COVID-19の5類移行に伴い、救急や近隣の医療機関からの受け入れに一層力を入れて参ります。頭痛や外傷、脳血管障害、水頭症含めた認知症が疑われる患者さんなど脳神経外科領域と考えられる患者さんのご紹介をいただければ幸いです。

リハビリテーション科に関しては、この数年回復期病棟をCOVID-19病棟へ変更して診療に当たっている状態でした。その間患者さんはもちろんのこと近隣の医療機関の先生方にもご迷惑をおかけしたと存じます。今回COVID-19の5類移行に伴い回復期病棟を再開することとなりました。脳神経外科領域においては、急性期治療の後、多くの症例でリハビリテーションが必要になります。そのため患者さんのスムーズな受け入れと加療継続を行うべく、この度病棟担当医を脳神経外科が受け持つことになりました。

病棟の本格的な稼働は、COVID-19の収束状況をみながらという状態ではありますが、脳神経領域だけでなく整形外科領域や循環器領域の患者さんも随時受け入れていく予定です。今後はリハビリに関してもご相談いただければ幸いです。

これからも地域の医療機関との連携を密にして、地域と患者さんのために一層の努力をしていく所存でおります。引き続き当院脳神経外科及びリハビリテーション科を宜しく願い申し上げます。



お知らせ 秋川流域の医師会先生方にご案内していたCOVID-19患者さんの入院相談用のホットラインは感染症分類変更に伴い終了とさせていただきます。今後は地域医療連携センターにご相談ください。